

希学園 第407回 小5公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第407回公開テスト 小5理科 解説動画(2026年4月12日実施)	https://vimeo.com/1181992535/030cf3ae3d

1

(1) ①	ウ	②	カ	(2)	イ	(3)	ア	(4)	ア
-------	---	---	---	-----	---	-----	---	-----	---

(5)	ア, イ, エ (順不同・完答)	(6) ①	ア	②	エ
-----	---------------------	-------	---	---	---

2

(1) ①	38 (整数指定)	②	4 (整数指定)	③	27.3 (小数第 1 位指定)	④	29.5 (小数第 1 位指定)	(2)	ク
-------	--------------	---	-------------	---	---------------------	---	---------------------	-----	---

(3)	オ	(4)	午前 3 (12 時制指定)	時	(5)	午後 6 (12 時制指定)	時	(6)	西
-----	---	-----	-------------------	---	-----	-------------------	---	-----	---

(7)	南東	(8)	エ	(9)	クレーター
-----	----	-----	---	-----	-------

3

(1) ①	イ	②	イ	(2) ①	A	28.8	(cm)	B	15	(回)	②	ア
-------	---	---	---	-------	---	------	------	---	----	-----	---	---

(3) ①	C	36	(cm)	D	600	(g)	②	ウ
-------	---	----	------	---	-----	-----	---	---

4

(1)	アブラナ (カタカナ指定)	科	(2)	ふ 化 (ひらがな 1 字指定)	(3)	ア オ ム シ (カタカナ 4 字指定)	(4)	イ
-----	------------------	---	-----	---------------------	-----	-------------------------	-----	---

(5)	16	本	(6)	4	回	(7)	りんぷん 鱈粉	(8)	ウ
-----	----	---	-----	---	---	-----	------------	-----	---

希学園 第407回 公開テスト 小5 理科 2026年4月12日実施 解説

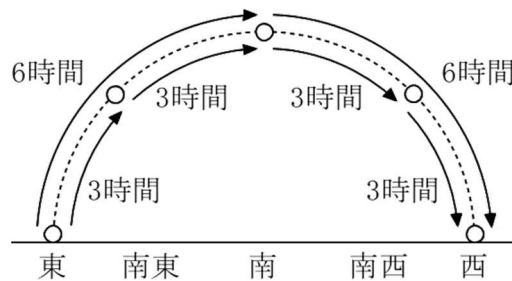
1

- (4) ソメイヨシノは種子をつくりにくく、接ぎ木や挿し木をして増やす。
- (6) 文中の情報をきちんと読み取る。
- ① エドヒガン…花の色：淡紅色 花の形：一重咲 → ア
- ② テンシコウ…花の色：白色 花の形：八重桜 → エ

2

月の位置と月の形、南中時刻は次の表のようになり、月の動きと時間の関係は図のようになっている。

位置	月の形	南中時刻
ア	上弦の月	午後6時(18時)
イ	—	午後9時(21時)
ウ	満月	午前0時(0時)
エ	—	午前3時(3時)
オ	下弦の月	午前6時(6時)
カ	—	午前9時(9時)
キ	新月	午後0時(12時)
ク	三日月	午後3時(15時)



- (5) 月が南西に見られるのは、南中時刻の3時間後である。
- ク的位置にある月(三日月)の南中時刻は15時なので、 $15時 + 3時間 = 18時 \rightarrow$ 午後6時である。
- (6) ウ位置にある月(満月)の南中時刻は0時なので、6時は南中時刻の6時間後にあたる。
- 南中時刻の6時間後には、月は西の方角にある。
- (7) オ位置にある月(下弦の月)の南中時刻は6時である。3時は南中時刻の3時間前にあたる。
- 南中時刻の3時間前には、月は南東の方角にある。
- (8) 6時に南西にある月の南中時刻は、 $6時 - 3時間 = 3時$ である。
- 3時に南中する月はエ位置にある月である。

3

- (1) ① 巻いたゴムは手をはなすと元に戻ろうとするので、時計回りに巻いたゴムは反時計回りに回転する。
- ② ゴムを図1と反対回りに巻いているのでプロペラが反対向きに回転し、風が反対向きに発生して左向きに進む。
- (2) ② 表1から、ゴムの巻く回数が2倍、3倍…になると、台車が進む長さも2倍、3倍…になる。
- ①A ゴムを巻く回数が4回のもものと比べると、8回巻きは2倍になっているので、台車が進む長さも2倍になる。
- $14.4\text{cm} \times 2 = 28.8\text{cm}$
- B 台車が進む長さが36cmのもものと比べると、54cmは1.5倍になっているので、ゴムの巻く回数も1.5倍になる。
- $10\text{回} \times 1.5\text{倍} = 15\text{回}$
- (3) ② おもりの重さが100gから200gになると、台車が進む長さは24cmから18cmになっている。この関係はどれにもあてはまらない。
- ①C おもりの重さが0gなので、表1のゴムの巻く回数が10回のところを読めばよい。
- D おもりの重さ0g …台車 $200\text{g} + 0\text{g} = 200\text{g}$ の重さをプロペラで動かしている。→台車が進む長さは36cm。
- おもりの重さ100g …台車 $200\text{g} + 100\text{g} = 300\text{g}$ の重さをプロペラで動かしている。→台車が進む長さは24cm。
- おもりの重さ200g …台車 $200\text{g} + 200\text{g} = 400\text{g}$ の重さをプロペラで動かしている。→台車が進む長さは18cm。
- (台車の重さ+おもりの重さ)が2倍、3倍…になると、台車が動く長さは $\frac{1}{2}$ 倍、 $\frac{1}{3}$ 倍…になっていることがわかる。
- 台車が進む長さが9cmなので、36cmの $\frac{1}{4}$ 倍になっている。つまり、(台車の重さ+おもりの重さ)が4倍になっている。
- (台車の重さ $200\text{g} +$ おもりの重さ) $= 200\text{g} \times 4 = 800\text{g}$ より、おもりの重さ $= 800\text{g} - 200\text{g} = 600\text{g}$ とわかる。